

土木構造物の維持管理技術研修会

「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2017 初夏」

－ 第14回技術研修会 発表技術の募集案内 －

主催：一般社団法人 日本構造物診断技術協会
構造物診断士会

一般社団法人 日本構造物診断技術協会 構造物診断士会では、「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2017初夏」と題する技術研修会を開催いたします。

つきましては、皆様方が保有されている鋼構造物あるいはコンクリート構造物の維持管理に関連する技術をご紹介・発表していただきたく公募いたしますので、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

維持管理業務においては、対象構造物の劣化状況に応じて最も相応しい技術を選ぶことが極めて重要ですが、その対応に苦慮することが多く、また土木構造物の維持管理業務に適用される技術は多岐にわたり、かつ日進月歩で進化していることから、幅広い技術情報を発信・習得することも重要な課題です。

当会ではこのような観点から、技術力向上の一助と実務者相互の情報交換のために、コンパクトな技術交流の場を提供することを目的として、平成23年1月に第1回目の技術研修会を開催いたしましたところ、多数の方々にご参加いただき、大変なご好評を得ることが出来ましたので、この行事を“ニューテクの今”と題するシリーズとして平成28年11月までに13回開催してまいりました。

是非とも皆様方が保有される貴重な技術を紹介して、販売および普及の場としてご活用していただければ幸いに存じます。なお、この研修会は土木学会の継続教育制度(CPDプログラム)の認定を申請いたします。また、発表された技術の紹介資料を協会「構造物診断士会」のホームページに掲載させていただきます。

記

研修会開催日時：平成 29 年 6 月 26 日(月) 時間は午後の予定(詳細は別途案内)

研修会開催場所：埼玉県 川口駅前市民ホール フレンジア (JR 川口駅に隣接)

発表技術内容：鋼構造物およびコンクリート構造物を対象とした

- ① 調査・点検技術分野
- ② 診断技術分野
- ③ 補修技術分野
- ④ 補強技術分野
- ⑤ 保守技術分野

発表技術の選考：発表技術の応募件数が多い場合には、所定数を構造物診断士会にて選考いたしますことを、あらかじめご了承ください。

なお、本研修会は今後も継続的に実施いたしますので今回の選考にもれた応募技術は、次回以降に発表していただきます。

発表の形態：① 発表に必要な説明補助資料の配布や模型・実物によるデモンストレーション等も積極的に活用・実施してください。

② 発表時間は、1件当たり 20 分程度を予定しています。

③ 聴講者数は 100 名を予定しています。

④ 研修会では保全に関する著名な方による「特別講演」も実施します。

発表の応募締切：① 発表技術の応募申込締切日は平成 29 年 3 月 31 日(金)です。

② 発表要領は、採用された方に改めてご連絡します。

申 込 先：添付の発表申込書に必要事項を記入し、メール、FAX または郵送にてお申し込みください。

※ 発表していただきます技術 1 件につき展示協力費として 1 万円(ご発表者 1 名分の聴講参加費を含む)のご協力をお願いいたしますので、あらかじめご了承ください。

※ 過去 2 回分の発表状況を添付します。

以 上

＜“ニューテクの今”過去 2 回分の発表技術＞

① 第 12 回 “ニューテクの今” 2016 初夏

平成 28 年 6 月 16 日開催			
紹介技術	①	コンクリート構造物のひび割れ検知ツール「KK クラックセンサ」	倉敷紡績株式会社
	②	業務用ドローンの現状と事例紹介	株式会社 アミューズワンセルフ
	③	電気化学的防食工法「再アルカリ化工法・脱塩工法」	株式会社 デンカリノテック
	④	ウォールプロテクト工法	矢作建設工業株式会社
	⑤	コンクリート橋の桁端狭隘部調査および補修（NSRV 工法）	株式会社 ピーエス三菱
講演	特別講演 「世界遺産アンコール・ワットのヒミツ – 西参道修繕計画 –」		日本大学 理工学部 名誉教授 半貫 敏夫

② 第 13 回 “ニューテクの今” 2016 秋

平成 28 年 6 月 16 日開催			
紹介技術	①	橋梁点検ロボットカメラ	三井住友建設株式会社
	②	非破壊検査機器レンタルサービス	株式会社 レックス
	③	Nivo-i の座標付画像によるひび割れ自動計測システム	株式会社 ニコン・トリンプル
	④	浸透性さび面素地調整塗料「ラストボンド SG」	ジャパンカーボライン株式会社
講演	特別講演 「インフラで苦悩する自治体の課題と解決策」		(一財) 首都高速道路技術センター 上席研究員 高木 千太郎

敬称略